

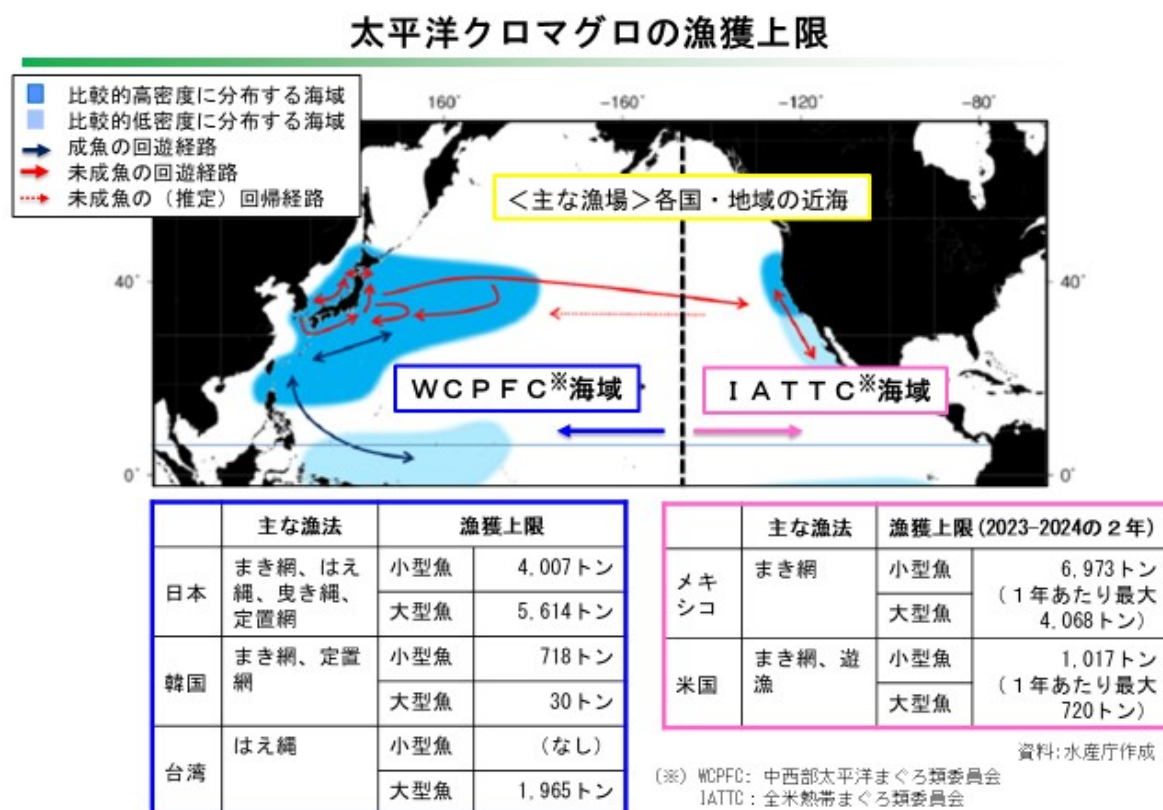
IATTCとWCPFCの合同作業部会における我が国の提案について

6月25日（火）、7月10日から13日に開催されるIATTC（全米熱帯まぐろ類委員会）とWCPFC（中西部太平洋まぐろ類委員会）の合同作業部会に向けて、我が国提案（WCPFCの太平洋クロマグロ保存管理措置改定案）を提出しました。

同提案の概要は以下のとおり。

- ① 中西部太平洋における太平洋クロマグロの漁獲上限について、ISC（北太平洋まぐろ類国際科学小委員会）が計算したシナリオの7（小型魚＋30％・大型魚＋131％）に基づく増枠
- ② 各国の監視取締措置に関する報告義務の新設
- ③ このほか、小型魚から大型魚への振替にあたっての特例措置の一般ルール化等についても提案

【参考1】 現行の太平洋クロマグロの漁獲上限



【参考2】 I A T T C と W C P F C の合同作業部会において議論されるシナリオ
(ISCにより計算された増枠シナリオ)

シナリオ 番号	西部太平洋			東部太平洋
	小型魚	大型魚	西部増枠幅(トン)	
1	4,475	7,859	0	3,995
2	3,236	9,799	701	3,995
3	0	0	-12,334	0
※以下、シナリオ4～11については、60%の確率で「初期資源の20%」を維持できる範囲で最大の増枠幅を計算				
4	+60%	+60%	7,400	+60%
5	増枠なし	+180%	13,696	+180%
6	+20%	+163%	13,321	+108%
7	+30%	+131%	11,347	+92%
8	+30%	+30%	3,700	+190%
9	+55%	+55%	6,784	+80%
10	+10%	+130%	10,364	+190%
11	+40%	+120%	11,221	+80%

(共同議長の6つの追加の増枠シナリオ)

シナリオ 番号	西部太平洋			東部太平洋
	小型魚	大型魚	西部増枠幅(トン)	
現行措置	4,475トン	7,859トン		3,995トン
追加1	増枠なし	+50%	3,805	+50%
追加2	+5%	+50%	4,029	+50%
追加3	+5%	+70%	5,725	+70%
追加4	+10%	+50%	4,278	+50%
追加5	+20%	+50%	4,750	+50%
追加6	+20%	+100%	8,554	+100%

【参考3】 6月に行った国内意見交換会資料
<https://www.jfa.maff.go.jp/j/study/enoki/attach/pdf/kuromaguro-15.pdf>